

第2回竜王地区地域審議会会議録

1. 日時

平成24年10月10日(水)

14:00～15:45

2. 場所

甲斐市役所 竜王庁舎 本館4階 委員会室B

3. 会議次第

1、開会

2、会長あいさつ

3、企画政策部長あいさつ

4、報告事項

① 赤坂地区活性化事業の現状について

② 甲斐市地域防災計画改定事業について

③ 自治基本条例について

5、その他

6、閉会

4. 出席者

(ア) 出席委員〔6名／7名〕 欠席委員 滝川委員

(イ) 事務局

土屋企画政策部長、有泉秘書政策課長、保延消防防災対策室長 今村農林振興課長

消防防災係 望月係長、秘書政策課総合政策係：石合係長、石原主査、小澤主査

5. 報告事項における質疑

①赤坂地区活性化事業の現状について

・わかりやすいネーミングの提案、市の直売所の提案

⇒市全域に広がった場合に検討、直売所については、農協との調整が必要。

・焼き芋などの販売について

⇒イベント時や店舗で、焼き芋の販売を検討している。

・焼酎の単価

⇒720mlで1,400円を予定している。

・赤坂とまとの販路について

⇒農協の直売所、いちやまマーケット、岡島食品館、双葉のサービスエリア、ゆうのう敷島、双葉農の駅、黒富士農場

②甲斐市地域防災計画改定事業について

・原子力災害対策のマニュアルについて、わかりやすい図面化での対応を

⇒県の計画及び県との協議した中で、進めていく。実際的の運用マニュアルを検討していく。

・自主防災組織のマニュアル化を

⇒今後、進めていきたい。

- ・災害ボランティアセンターの運営について
⇒社会福祉協議会で実施する。
- ・男女共同参加の取り組みについて
⇒30人の防災会議に5名女性が参加し、計画を策定していく。
- ・自治会やボランティアなどの指揮系統について
⇒市の災害対策本部を設置し、マニュアルに沿って対応していく。

③自治基本条例について

6. その他

- ・歴史文化、山県大弐のPRについて
⇒学校での教育を充実して、引き続きPRしていく。
- ・赤坂地区へ太陽光パネルを設置について
⇒農地法及び農業振興法の規制があり難しい。
- ・竜王駅への全てのかいじ号の発着について。
⇒以前より臨時便の増発はしているが、全ては採算面からも難しい状況の様子。継続して依頼していく
- ・北部開発について、高度専門学校の誘致は。
⇒研究機関等誘致できるよう、貴重な提言として検討課題にする。
- ・アウトレットの誘致について
⇒都市計画上の規制もあり難しい状況。研究検討課題にする。

午後3時45分閉会